

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、AGS JOINT STOCK COMPANY (ベトナム・ホーチミン)



【タイ駐在員】

日本人から見たタイの医療事情(日本人向け医療施設など)

1. はじめに

現在、タイ王国に居住する日本人は7万人を超えと言われ、また日本からタイへの入国者数も2019年は過去最高の約180万人と、ASEAN地域において突出しており、ビジネス・観光の両面から日本人にとって身近な国となっています。

そのような中、タイへの出張や旅行の際、あるいは駐在されている方においては、ご自身やご家族などの健康に関する事が、最も心配の種ではないでしょうか？

そこで今回は、日本人から見たタイの医療事情についてご紹介することで、今後タイへ安心してご出張・ご旅行いただけるよう、少しでもお役に立てればと思います。

2. タイ王国における医療事情

まず、タイにおける医療事情全体についてご紹介します。タイには日本と同様に国民健康保険や社会保険制度が存在しますが、日本のものとは内容が大きく異なります。

タイ人が支払う保険料は国民健康保険(2002年制度導入)が無料、社会保険は給与の5%(上限750タイバーツ、日本円換算約2,600円)と非常に低廉で、受診時の自己負担額も無料もしくは30タイバーツ(日本円換算約100円)と、費用面においては圧倒的に安価であると言えます。

一方で、日系企業やタイ企業で働く日本人が加入する社会保険の場合、本人のみが対象で家族は対象外で、適用される医療機関は事前に1ヶ所のみ指定しておかなければなりません(指定できる医療機関は主に公立病院)。また、公立病院は非常に患者数が多く、常に混みあっている状況で、「重要な検査や急を要する手術でも思うように受診できる」とは限らない、「日本語が通じる公立病院はほとんど存在しない」など日本人にとっては不便と感ぜられる事が多くあります。

また、タイの私立病院は全て自由診療となっているため、公立病院と比べて治療費が高額になるのが一般的です。タイを訪れる外国人においては、これらの費用負担をカバーするため、保険会社の海外旅行保険に加入するのが一般的です。

次に、タイにおける医療施設についてご紹介します。タイは(主に高級私立病院において)高度な先進医療を備えた国で、医療機関の数やクオリティにおいては ASEAN 地域で突出しており、中東やヨーロッパなどからメディカル・ツーリズム目的で多くの外国人が訪れます(「JCI 認証」(医療品質や衛生管理に関する国際的医療機関の評価基準)を有する病院も数多く存在します)。実際に、後述する日本人が多く利用する私立総合病院には、中東系やインド系の富裕層と思われる来院者を多く見かけます。

3. 日本人が利用する医療施設

バンコクの代表的な私立総合病院の中には日本の大病院と比較しても遜色のない設備の病院が多くあり、海外で医学教育や研修を受けた医師が多く勤務しています。また、日本の大学の医学部あるいは研修病院に留学経験のあるタイ人医師や日本語通訳のスタッフが勤務している病院も幾つかあり、一般的な怪我や病気のみでなく、出産や手術などもほぼ不安なく診療が受けられます。

次に、日本人の大半が訪れるとともに滞在する首都バンコクおよび自動車産業が集積しているバンコク東部のチョンブリー県という二つのエリアにおける医療施設についてご紹介します。

【バンコクで日本語が通じる病院(通訳が常駐等)】

- ・サミティベート病院(Samitivej Sukhumvit Hospital)
- ・バムルンラード病院(Bumrungrad International Hospital)
- ・バンコク病院(Bangkok Hospital)
- ・ラマ9世病院(Rama 9 Hospital) ※日本語通訳は8~16時常駐
- ・BNH病院(Bangkok Nursing Home Hospital)

なかでも、日本人駐在員が多く住むほか観光客も多く滞在するホテルが集中するスクンビットエリア圏内に位置するサミティベート病院並びにバムルンラード病院、バンコク病院は、日本人向けの間ドック等も常時実施しており、実際に私たち駐在員もお世話になっています。海外旅行保険に加入していれば、上記の病院では非常にスムーズに受診手続きを行う事が可能です。

【チョンブリー県で日本語が通じる病院(同上)】

- ・サミティベート病院(Samitivej Sriracha Hospital) ※シラチャ地区
- ・パヤタイ病院(Phyathai Sriracha General Hospital) ※シラチャ地区
- ・バンコクパタヤ病院(Bangkok Hospital Pattaya) ※パタヤ地区

工業団地の視察時や、ゴルフをプレーしている際に体調不良となった際には、上記病院のご利用を検討いただければと思います。

なお、サミティベート病院はスワンナプーム国際空港内にもクリニックを運営しており、初めての入国時等においてタイ語や英語でのコミュニケーションが難しい場合でも、安心して受診する事が可能です。また、日本人観光客に人気のある地方都市であるチェンマイやプーケットなどにも日本語通訳が常駐する病院が存在します。

歯科医院においても日本語対応が可能な医院も複数存在し、なかには日本から進出している歯科医院もあります(日本人向けのフリーペーパーで広告を掲載している場合が多いです)。



写真：サミティベート病院(バンコク・スクンビット)、同病院ホームページに掲載

4. おわりに

タイは私たち日本人を含め外国人にとって安心して受診できる病院が多く存在しており、観光・出張においては心配なく過ごせると言えます。

ただし、外国人が主に利用する私立病院は全て自由診療となっており、診察料・治療費等は、日本での窓口負担額と比べて、一般的には高額になることが多く、可能であれば事前に料金等を確認するか、または海外旅行傷害保険などの保険が適用されるか確認することが望ましいです。旅行・出張のいずれの場合においても、滞在期間にかかわらず海外旅行保険への加入を強くお勧めします。

このアジアニュースをお読みいただいた方のなかで、もし「今度タイへ出張(旅行)に行くので色々自分でも調べてみたけど、もう少し詳しく知っておかないと不安」という方がいらっしゃいましたら、現地駐在員がアドバイスさせていただきますので、是非ともご相談いただくと幸いです。ご要望につきましては、お取引店、または山口フィナンシャルグループ海外戦略部までお気軽にお問い合わせください。

(タイ駐在員 石丸 将伸・山口 新吾)

【参考文献】

在タイ日本大使館

https://www.th.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mamechishiki.html

JTB 総合研究所

<https://www.tourism.jp/tourism-database/stats/outbound/>

日本政府観光局(JNTO)

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/index.html?tab=block2

サミティベート病院

<https://www.samitivejhospitals.com/jp/>

バムルンラードインターナショナル病院

<https://www.bumrungrad.com/jp>